

# 乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

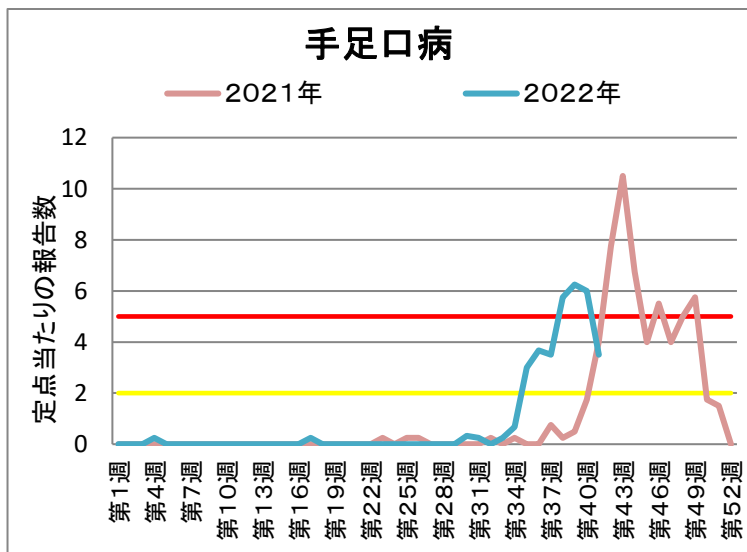
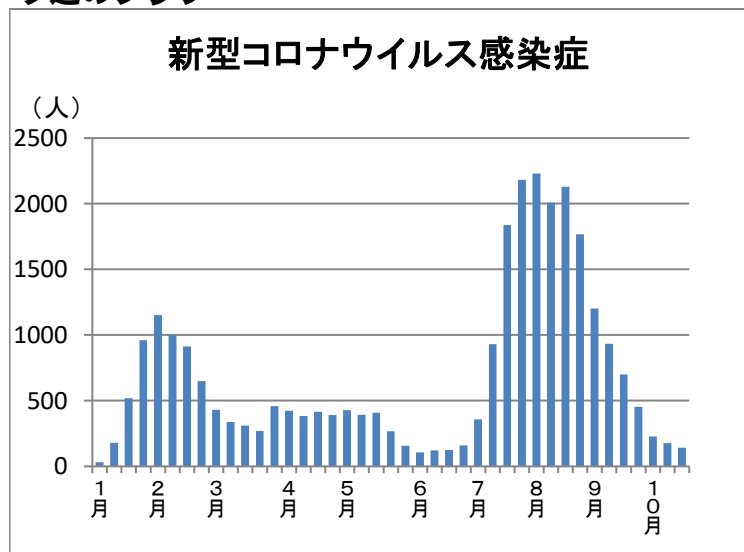
第 41 週 2022年10月10日 ~ 2022年10月16日

## 今週のコメント

○乙訓管内では、新型コロナウイルス感染症について141例の報告がありました。第7波が収束する中、今冬の季節性インフルエンザとの同時流行が懸念され、両方のワクチン接種が推奨されています。季節性インフルエンザは、従来よりも早めに流行のピークが来る可能性も指摘されていますので、早めのワクチン接種をご検討ください。

○一方で、米国では現在、RSウイルス感染症による小児患者が急増し、地域によっては医療現場が逼迫しているといえます。この2年半のコロナ対策によりRSウイルス感染症に罹患する小児が減少し、曝露される機会も減少したために免疫を持たない小児が増加した可能性があるとして、今回の流行の一因として指摘されています。乙訓でも7月にRSウイルス感染症の流行がみられましたが、引き続き、今後の動向に注意が必要です。

## 今週のグラフ



\* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

## 今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	-
RSウイルス感染症	1.00	突発性発しん	0.25
咽頭結膜熱	-	ヘルパンギーナ	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	流行性耳下腺炎	-
感染性胃腸炎	3.00	急性出血性結膜炎	-
水痘	-	流行性角結膜炎	-
手足口病	3.50		

1~4類、5類全数報告疾病  
新型コロナウイルス感染症(141人)、結核(1人)

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

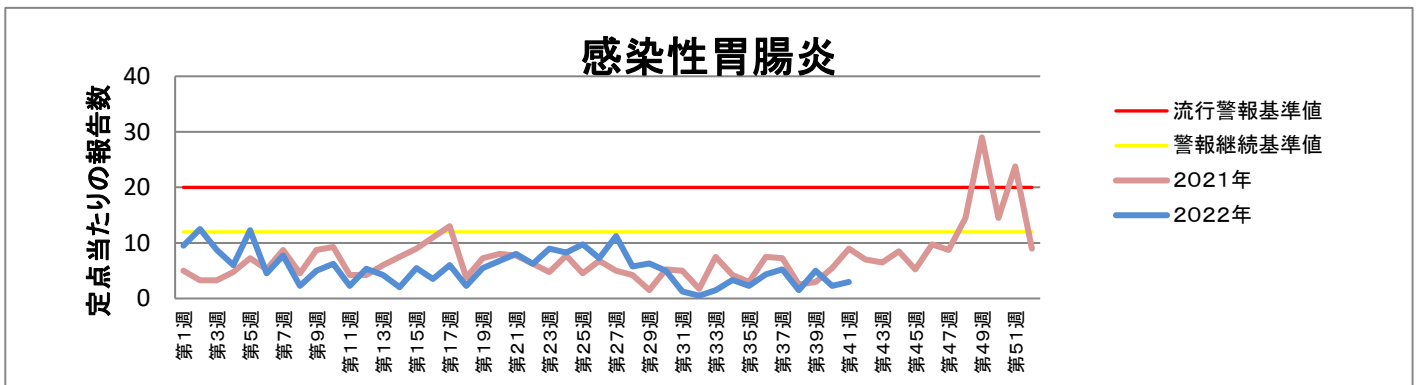
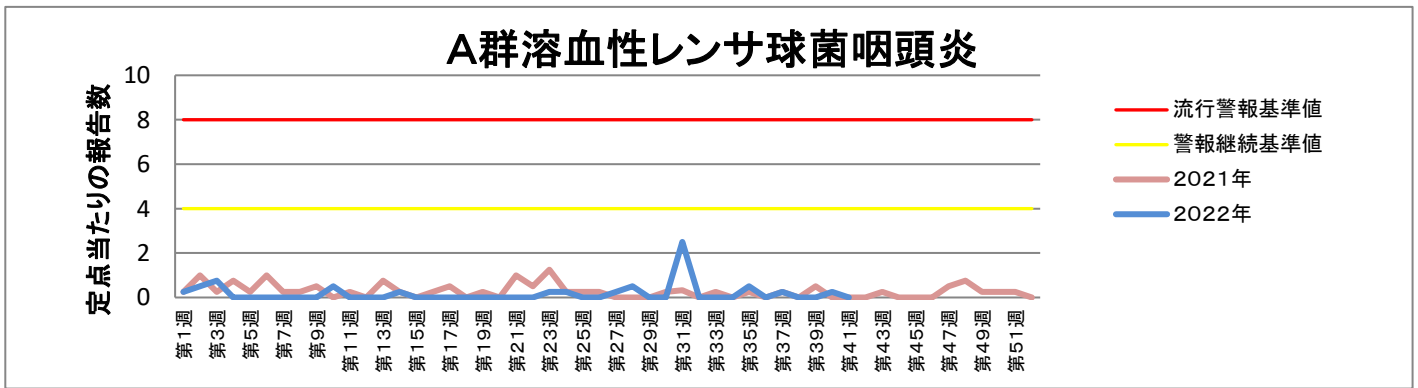
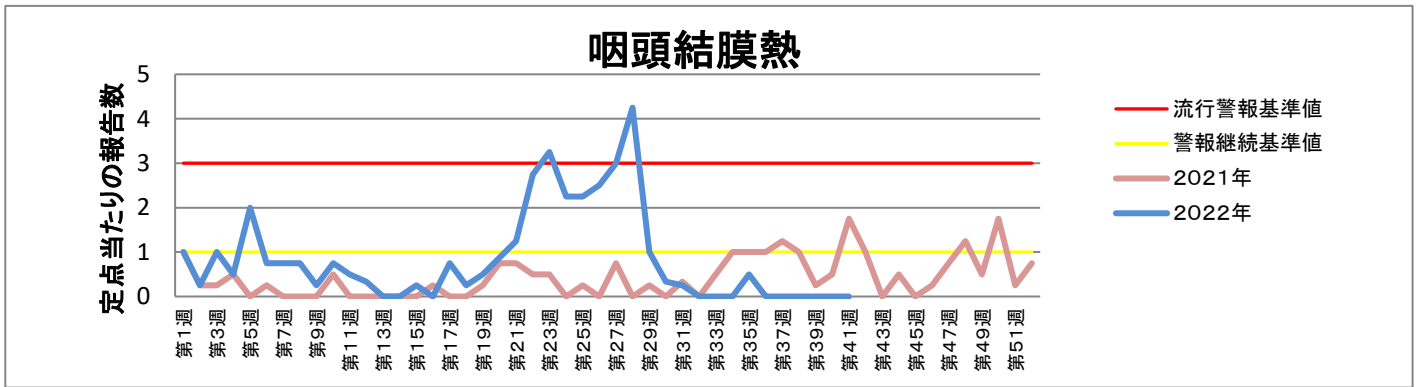
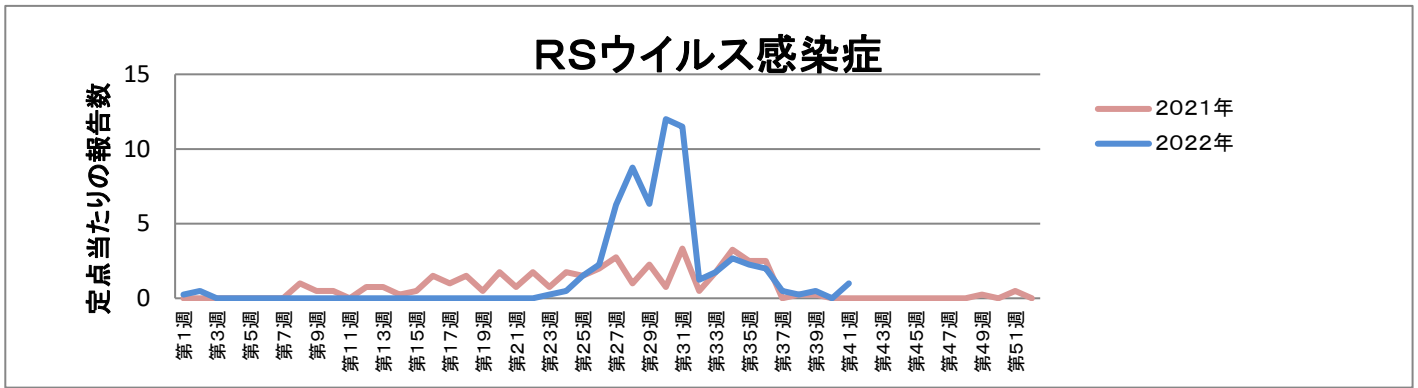
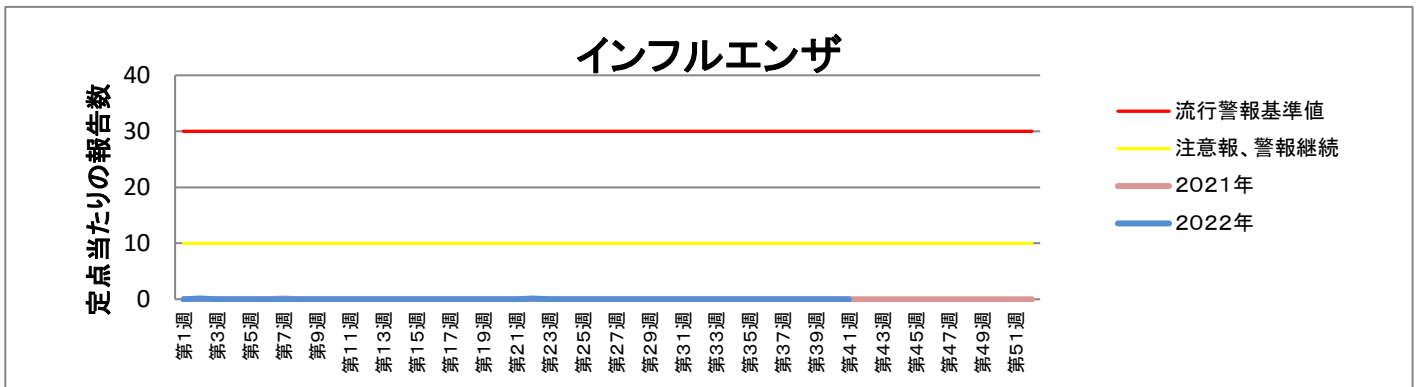
\* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所  
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所  
眼科定点 : 1箇所

## 参考資料等

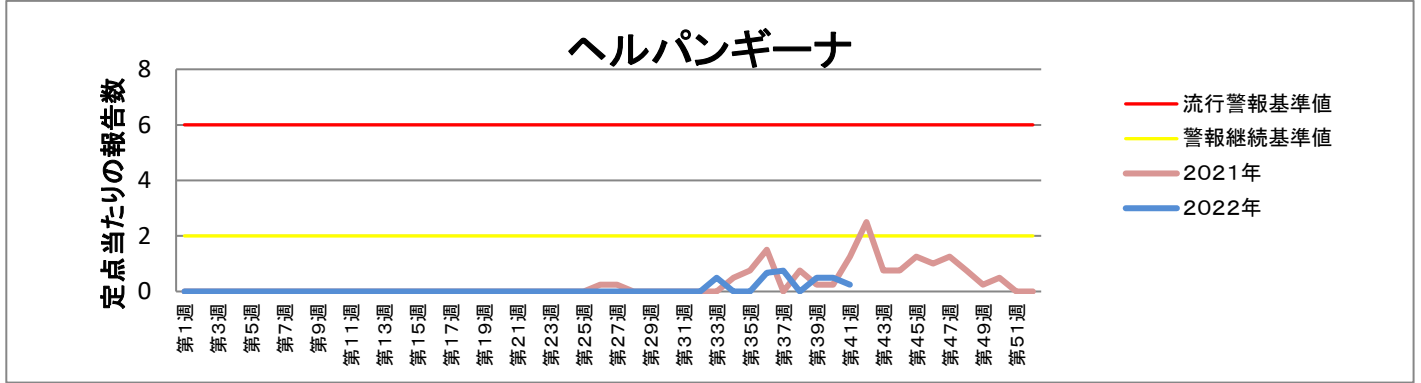
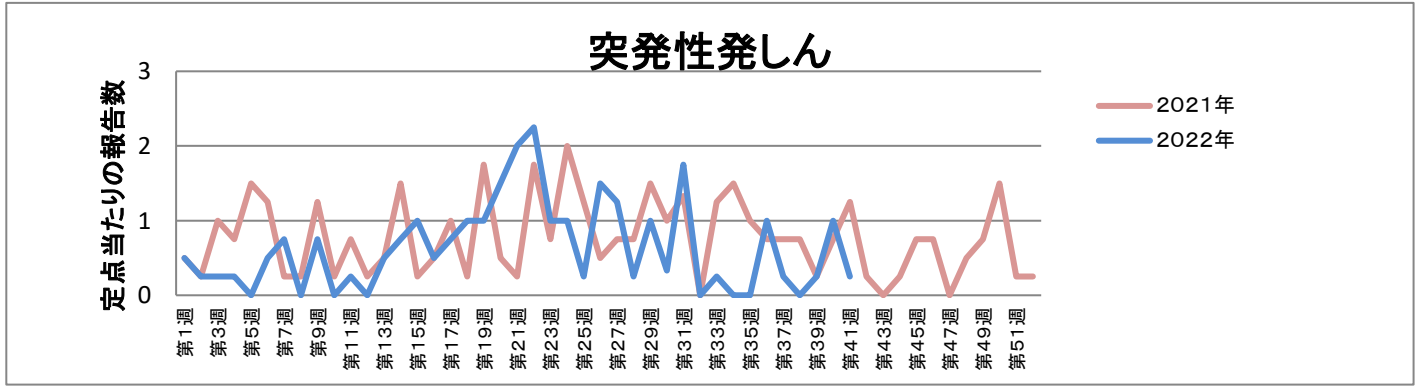
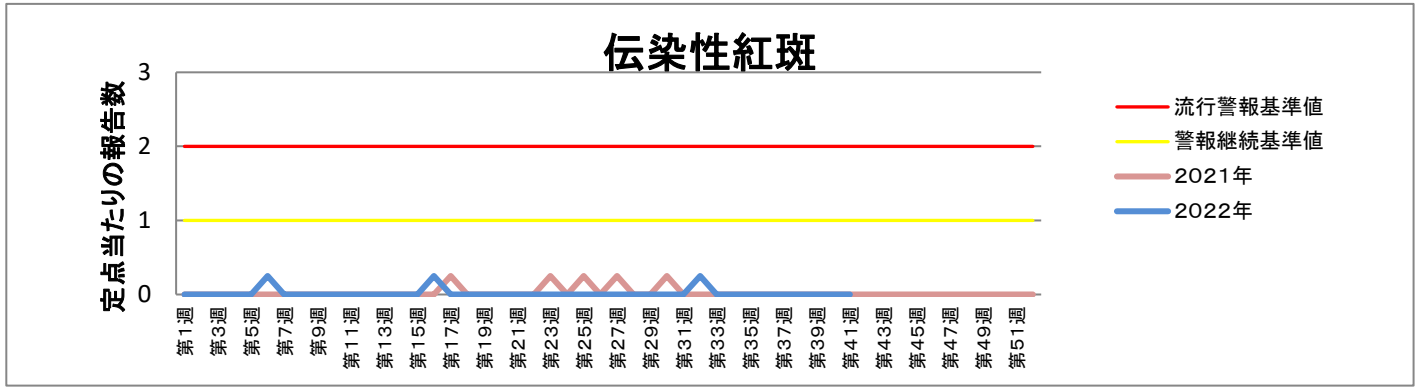
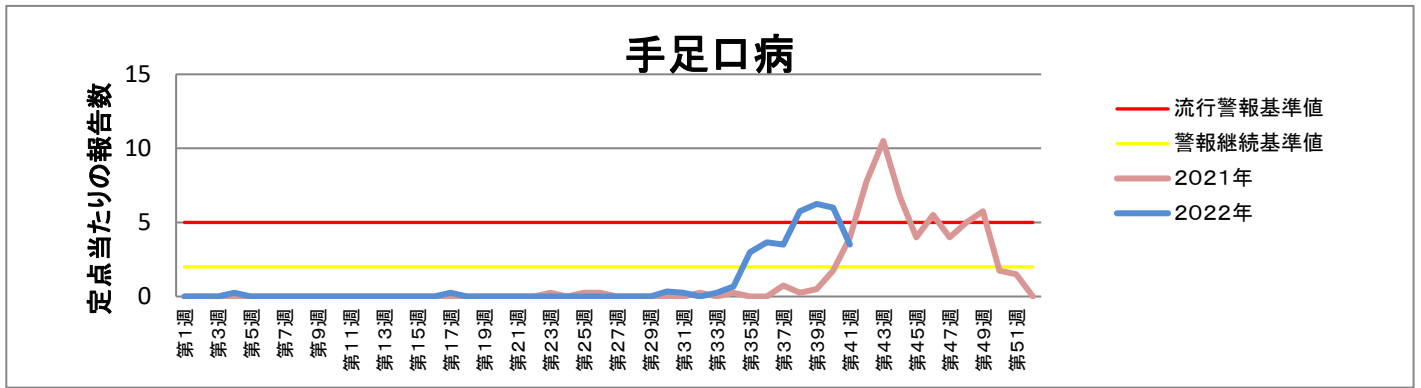
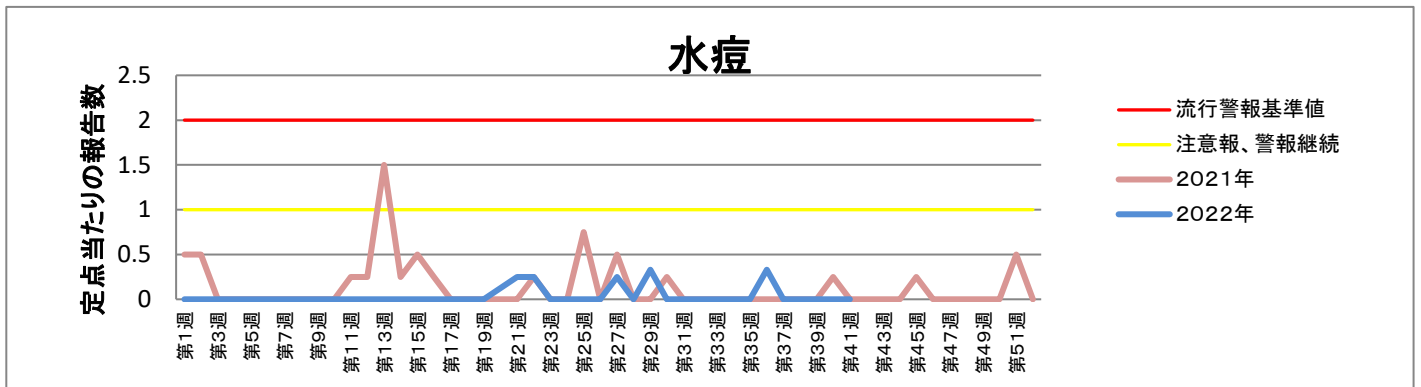
報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

(速報値)

# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



# 乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

